

## 物流段階

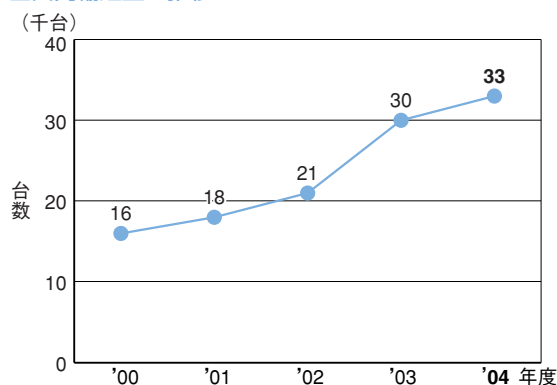
完成車の輸送、補修用品の輸送、海外ノックダウン部品の輸送などの物流段階において、輸送の効率化、梱包資材の削減・リサイクルなどに取り組み、環境負荷の低減を図っています。これまで、完成車輸送は主に関係会社のスバル物流(株)が行っており、海外工場での組立のための部品等の発送は同じく関係会社のスバル梱包輸送(株)が行っていましたが、2004年7月1日両社が統合し(株)スバルロジスティクスとなりました。

### 完成車輸送における環境負荷の低減

#### ((株)スバルロジスティクスの取り組み)

完成車輸送では、キャリアカーの実荷率を高め、キャリアカーの稼働本数を減らすことで環境負荷軽減に貢献できます。(株)スバルロジスティクスでは、同業他社と完成車輸送の共同輸送の取り組みを強化しており、2004年度の取り扱い量(他社への委託台数と他社からの受託台数の合計)は32,884台と2000年度の2倍程度までに拡大してきています。

#### 共同輸送量の推移



(株)スバルロジスティクスでは、同業他社とともに今後の環境問題への取り組みなどについてアンケート調査を実施するなど積極的な取り組みを行っています。また、輸送協力会社にアイドリングストップ装置の装着を推進したり、エコドライブ等のマナー向上活動についても継続的に行っています。

2004年度の国内特約店向けの搬送台数は2003年度に対して4.2%増加しましたが、CO<sub>2</sub>排出量は前年度に対して1.0%の増加にとどまりました。<sup>\*1</sup> 今後、さらに積載効率の向上を図るため、小型自動車と普通自動車の混載化等をすすめます。

### 補修用部品輸送における環境負荷の低減

#### (スバル部品センターの取り組み)

スバル部品センター(群馬県太田市)は2005年3月ISO14001の認証取得を認められました。

海外向け大量出荷梱包箱の梱包仕様改善を行い、ダンボー

ル及び木材の削減を図りました。例えば、スブラッシュガードをダンボール梱包からストレッチフィルム梱包に変更しダンボール1,100kgを削減しました。



改善前(ダンボール梱包)



改善後(ストレッチフィルム梱包)

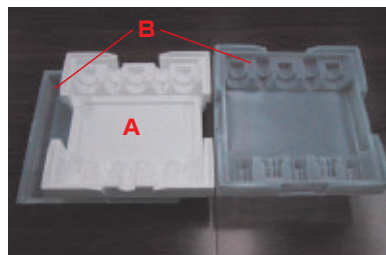
また、従来、専用便で配送している国内特約店には、繰り返し使用できるリターナブルダンボール箱を活用することにより使用量削減に取り組んできました。2004年度は、太田納整センター向けに拡大展開し、これにより、さらにダンボール使用量1,200kgの削減が図れました。

### 海外向けノックダウン部品梱包資材の削減

#### ((株)スバルロジスティクスの取り組み)

(株)スバルロジスティクスは、2005年2月のISO14001定期審査の際に部品物流本部(海外向けノックダウン部品の梱包及び輸送を担当していた旧スバル梱包輸送(株))まで拡大しての認証取得が認められました。

北米向けのノックダウン部品に「カムシャフト」があります。精密部品なので梱包には注意が必要ですが、今回、梱包資材の改善に取り組み、ポリスチレン成型品(A)と発泡粉付着防止トレイ(B)の複合化(特許出願中)にすることにより、梱包資材のリサイクル、リユースが実現できました。これまでのポリプロピレン製は埋め立て処理されていましたが、ポリスチレン化により軽量コンクリート等へのリサイクルが可能となりました。また、トレイは日本へ返却され洗浄後再利用されます。



改善をした海外(北米)向けカムシャフト部品梱包資材

\* 1 CO<sub>2</sub> 排出量：特約店迄の輸送距離数に完成車重量を乗じて算出した数値(トン・キロ)に、輸送機関毎のCO<sub>2</sub> 排出係数を乗じて算出しています。